

2023年6月発行

# 大学院進学ガイドライン (修士課程)

 新潟医療福祉大学大学院

# 目次

## 出願に向けて

大学院進学に向けた心構えと覚悟	1
出願前の入学相談	2
教育目的	3
3つのポリシー	4
学位論文の評価基準	9
修了要件	11
取得できる学位	12
取得できる教員免許	12

## 学位取得に向けて

授業について	14
学位取得までのプロセス	15
学位論文の審査について	16
学位論文審査申請時の提出書類	16
生成 AI 利用に関する注意事項	17

## 相談窓口

18

# 出願に向けて

## 大学院進学に向けた心構えと覚悟

「大学院で学びたい」

そう考えた方が、このガイドラインを手にとっていると思います。

人生 100 年時代において、皆さんがお持ちの『学ぼうとする意志』は、最も大切なことです。本学大学院は、そのような方の進学を心から歓迎し、皆さんの夢の実現を最大限サポートします。ここでは、大学院進学にあたり、心に留めておいていただきたいことを二つ記します。

まず、大学院では、「学問」をしてください。「当たり前だ!」、とお叱りを受けるかもしれません。「学問」の定義は、立場によって様々ですが、私は、「問いを学ぶ、問いで学ぶ」と理解しています。つまり、「自ら問いを立て、問いを解くことで学ぶ」ことが大学院での学びなのです。英文学・言語学者の外山滋比古先生は、著書『思考の整理学』の中で、「人間にはグライダー能力と飛行機能力があり、グライダー兼飛行機のような人間になること」の重要性を指摘しています。グライダーは、空を優雅に滑空しますが、残念なことに、自力で飛ぶことはできません。一方、飛行機は、エンジンを搭載し、空を自由に飛び回ることができます。すなわち、大学院での学びの中では、教えられたことを確実に身に付ける能力（グライダー能力）をもとに、自らが新しいことを創造する能力（飛行機能力）を高めてください。

もう一つは、大学院で学問を志す人間として、四つのことを大切にしてください。これらは、『国家の品格』などの著者である藤原正彦先生が、著書『数学者の言葉では』の中で、学問を志す人の性格条件として挙げていることです。第一に、「知的好奇心を持つこと」です。研究活動をするための大きな原動力になります。行き詰った時こそ、Why? を繰り返してみてください。今まで見えなかったことが、見えてくることがあります。第二に、「野心的であること」です。野心的という言葉は、悪い意味に用いられることがありますが、研究活動では、暗中模索の時間も少なくありません。そんなときには、破壊的なエネルギーが必要であり、野心はその原動力になり得ます。第三に、「執拗であること」です。自らの問いを解く鍵は、解けるまで実践することです。「捲土重来を期す」というように、コツコツと粘り強く継続することが大切です。最後に、「楽観的であること」です。「自分には無理だ、出来ない」と思ったらその時点で終了です。どんな難題でも「どうにかなるかも知れない」、そう思いながら研究活動をしてください。もちろん、すべての物事がどうにかなるものではありませんし、研究結果に落胆することもあります（私も頻繁にあります）。ただ、それは人としての価値を決めるわけではありません。学ぼうとする意志や学ぶ姿勢、そのものに本当の価値があるのです。是非、四つのことを大切にしてください。

繰り返しになりますが、本学大学院は、学ぼうとする意志のある方の進学を心から歓迎し、皆さんの夢の実現を最大限サポートします。皆さんとともに学べる日を楽しみにしています。

新潟医療福祉大学大学院  
医療福祉学研究科  
研究科長 佐藤大輔

## 出願前の入学相談

充実した大学院生活・研究活動を送るには、ご自身の研究テーマを深められる環境があるか、指導教員の専門性や教育・研究に対する考え方が合っているかが非常に重要です。必ず、出願前に、指導を希望する教員に相談をし、本学での大学院生活・研究活動のイメージを固めた上で出願するようにしてください。

(相談内容例)

- ・ご自身の研究テーマを深められる環境が本学に整っているか
- ・研究室の特色について
- ・指導を希望する教員の研究内容や、指導方法・指導予定について
- ・研究のすすめ方や論文作成の流れについて
- ・どのように授業が行われるのか
- ・修了までのスケジュール
- ・研究や学位取得が今後のキャリアにどう貢献するか
- ・お仕事との両立について
- ・修学に対して不安に思っていること

(本学では、障がいをお持ちの方への教育的配慮をおこなっております。お気軽にご相談ください。)

指導を希望する教員と連絡を取りたい場合や、指導を希望する教員が決まっていない場合は、大学院入試事務室までお問い合わせください。

大学院入試事務室：grnyuusi@nuhw.ac.jp ※下記を明記の上、お問い合わせください。

- ・氏名、最終学歴
- ・研究テーマについて（これまでの研究や、大学院でおこないたい研究など）
- ・指導を希望する教員（不明の場合は希望する分野名）

いただいた内容をもとに、面談に関する連絡をいたします。

# 教育目的

## 修士課程

修士課程は、専攻分野における研究能力またはこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。(大学院学則第5条2項)

## 保健学専攻

保健・医療・福祉領域における多様なニーズに対し、積極的な連携によるサービスの質的向上を推進するために、リハビリテーション、義肢装具・福祉機器、心身機能等に関する研究と教育を進めるとともに、専門職教育に携わる人材の育成に関する研究を行う。

## 健康科学専攻

高齢社会の急速な進展に伴って増大・多様化する健康に関するニーズに対応して、多職種との積極的な連携とサービスの質的向上などを推進するために、栄養、スポーツ、看護の分野を中心とした健康科学等に関する研究と教育を進めるとともに、専門職教育に携わる人材の育成に関する研究を行う。

## 社会福祉学専攻

保健・医療・福祉サービスを総合的に提供し、患者・障害者をはじめ市民の QOL 向上と自立を支援するための方策を、国家・国民社会レベル、地域社会・施設・組織レベル、個人・家族レベルの3レベルについて、相互関連を重視しつつ調査研究し、保健・医療・福祉関係各専門職従事者の資質・専門的能力の向上に寄与する。

## 医療情報・経営管理学専攻

患者（利用者）満足度、病院（施設）経営の質と効率性の向上を遅延させているクリティカル・パス（遅延決定要素）を同定し、改善策（近道）を見つけることに貢献できる、時代の流れに即応した医療情報管理の専門家を養成する。

# 保健学専攻の3つのポリシー

本学では、建学の精神「優れた QOL サポーターの育成」のもと、優れた QOL サポーターに求められる資質・能力を 5 項目あげ、その英語の頭文字をとって「STEPS」と定義しています。

優れた QOL サポーターの資質・能力【STEPS】		ディプロマ・ポリシー 修了認定方針 以下のような力を身に付けた方に学位を授与します	カリキュラム・ポリシー 教育課程編成方針 以下の方針に従って教育課程を編成し、実施します	アドミッション・ポリシー 入学者受け入れ方針 以下のような能力・意欲等を有する学生を求めます
S	Science & Art 科学的知識と技術 を活用する力	保健学に関する最先端の情報をもとに、新たな仮説を立てることができる。適切な手法を用いて、自らの仮説を検証することができる。	保健学に関する仮説を立て、検証する能力を修得するために、研究思考やデータサイエンスに関する特論科目とともに、実際に研究を遂行する科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①②③、学術論文発表・学会発表により評価する。	保健学に関する基礎的知識および国内外の情報を収集する力を有する。
T	Teamwork & Leadership チームワークと リーダーシップ	ダイバーシティ(多様性の尊重)の考えを基盤に、地域または国際社会において、異なる領域の専門家間の連携を促進することができる。	ダイバーシティの考えを基盤に、異なる領域の専門家間の連携を促進する力を修得するために、英語でのコミュニケーションや連携および保健学に関する基礎科目を配置する。その成果は、履修科目の成績により評価する。	異なる領域の考え方を理解し、専門家間の連携を促進しようとする強い意志を有する。
E	Empowerment 対象者を支援する力	豊かな人間性および高潔な倫理観を有している。関係する人の価値観・決断を尊重し、様々な考えを融合することで、適切な支援を提案できる。	人間性および倫理観をもとに、対象者に対して適切な支援を提案する力を修得するために、研究倫理教育プログラム、保健学に関する科目を配置する。その成果は、研究倫理教育プログラム、履修科目の成績および学位論文評価基準⑤により評価する。	保健学領域における対象者の支援に対して強い意志を有する。
P	Problem-solving 問題を解決する力	社会的・学術的な問題に対し課題を設定し、自らの仮説を適切に検証することができる。常に、新たな問題解決策を模索し続けることができる。	自らの仮説を検証し、新たな問題解決策を模索し続ける力を修得するために、研究思考に関する特論科目、保健学に関する研究手法を学ぶ演習科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準④、学術論文発表・学会発表により評価する。	保健学に関する問題を多面的に認識し、解決するために必要な基礎的知識または経験を有する。
S	Self-realization 自己実現意欲	保健学領域の専門家として、学際的な学術・実践活動の価値を理解し、生涯を通して持続的に自身を成長させることができる。新しい価値を創出しようとする事ができる	保健学に関する学術・実践活動の価値を理解し、自身を持続的に成長させる力を修得するために、健康科学に関する研究動向や問題を学ぶ演習科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①～⑥により評価する。	保健学に関する学術・実践活動に高い関心を持ち、主体的・意欲的に学ぶ態度を有する。

# 健康科学専攻（健康科学）の3つのポリシー

本学では、建学の精神「優れた QOL サポーターの育成」のもと、優れた QOL サポーターに求められる資質・能力を 5 項目あげ、その英語の頭文字をとって「STEPS」と定義しています。

優れた QOL サポーターの資質・能力 [STEPS]		ディプロマ・ポリシー 修了認定方針 以下のような力を身に付けた方に学位を授与します	カリキュラム・ポリシー 教育課程編成方針 以下の方針に従って教育課程を編成し、実施します	アドミッション・ポリシー 入学受け入れ方針 以下のような能力・意欲等を有する学生を求めます
S	Science & Art 科学的知識と技術 を活用する力	健康科学に関する最先端の情報をもとに、新たな仮説を立てることができる。適切な手法を用いて、自らの仮説を検証することができる。	健康科学に関する仮説を立て、検証する能力を修得するために、研究思考やデータサイエンスに関する特論科目とともに、実際に研究を遂行する科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①②③、学術論文発表・学会発表により評価する。	健康科学に関する基礎的知識および国内外の情報を収集する力を有する。
T	Teamwork & Leadership チームワークと リーダーシップ	ダイバーシティ(多様性の尊重)の考えを基盤に、地域、医療関連分野および国際社会において、異なる領域の専門家間の連携を促進することができる。	ダイバーシティの考えを基盤に、異なる領域の専門家間の連携を促進する力を修得するために、英語でのコミュニケーションや連携および健康科学に関する基礎科目を配置する。その成果は、履修科目の成績により評価する。	異なる領域の考え方を理解し、専門家間の連携を促進しようとする強い意志を有する。
E	Empowerment 対象者を支援する力	豊かな人間性および高潔な倫理観を有している。関係する人の価値観・決断を尊重し、様々な考えを融合することで、適切な支援を提案できる。	人間性および倫理観をもとに、対象者に対して適切な支援を提案する力を修得するために、研究倫理教育プログラム、健康科学に関する科目を配置する。その成果は、研究倫理教育プログラム、履修科目の成績および学位論文評価基準⑤により評価する。	健康科学領域において、多様な価値観を尊重し、対象者を支援しようとする強い意志を有する。
P	Problem-solving 問題を解決する力	社会的・学術的な問題に対し課題を設定し、自らの仮説を適切に検証することができる。常に、新たな問題解決策を模索し続けることができる。	自らの仮説を検証し、新たな問題解決策を模索し続ける力を修得するために、研究思考に関する特論科目、健康科学に関する研究手法を学ぶ演習科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準④、学術論文発表・学会発表により評価する。	健康科学に関する問題を多面的に認識し、解決するために必要な基礎的知識または経験を得ようとする強い意志を有する。
S	Self-realization 自己実現意欲	健康科学に関する学術・実践活動の価値を理解し、生涯を通して持続的に自身を成長させることができる。新しい学術的・社会的価値を創出しようとする事ができる。	健康科学に関する学術・実践活動の価値を理解し、自身を持続的に成長させる力を修得するために、健康科学に関する研究動向や問題を学ぶ演習科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①～⑥により評価する。	健康科学に関する学術・実践活動に高い関心を持ち、主体的・意欲的に学ぶ態度を有する。

# 健康科学専攻（看護学）の3つのポリシー

本学では、建学の精神「優れた QOL サポーターの育成」のもと、優れた QOL サポーターに求められる資質・能力を 5 項目あげ、その英語の頭文字をとって「STEPS」と定義しています。

優れた QOL サポーターの資質・能力 [STEPS]		ディプロマ・ポリシー 修了認定方針 以下のような力を身に付けた方に学位を授与します	カリキュラム・ポリシー 教育課程編成方針 以下の方針に従って教育課程を編成し、実施します	アドミッション・ポリシー 入学者受け入れ方針 以下のような能力・意欲等を有する学生を求めます
S	Science & Art 科学的知識と技術 を活用する力	教育研究者及び実践者として、看護学を中心とした先進的な科学的知識と技術の基本を応用、論理的思考に基づいて活用できる。	看護学に関する仮説を立て、検証する能力を修得するために、研究思考やデータサイエンスに関する特論科目とともに、実際に研究を遂行する科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①②③、学術論文発表・学会発表により評価する。	看護学に関する基本的な科学的知識と技術、国内外の情報を収集する力を有する。
T	Teamwork & Leadership チームワークと リーダーシップ	ダイバーシティ(多様性の尊重)の考えを基盤に、地域社会または国際社会において、異なる領域の専門家や多機関と良好な関係を構築して連携できる。更に、身に付けた連携技能を伝えることができる。	ダイバーシティの考えを基盤に、異なる分野の専門職間の連携を促進する力を修得するために、英語でのコミュニケーションや連携技能に関する科目を配置する。その成果は、履修科目の成績により評価する。	異なる分野、異なる考え方を理解し、専門職間の連携を促進しようとする強い意志を有する。
E	Empowerment 対象者を支援する力	豊かな人間性および高潔な倫理観を有している。国際化した社会の一員として対象者の価値観・自己決断力・自己決定権を尊重して適切な実践ができる。	人間性および倫理観をもとに、対象者に対して適切な支援を実践する力を修得するために、研究倫理教育プログラム、看護学に関する科目を配置する。その成果は、研究倫理教育プログラム、履修科目の成績および学位論文評価基準⑤により評価する。	看護学分野における対象者の支援に必要な、対象者を尊重し理解する態度を有する。
P	Problem-solving 問題を解決する力	社会的・学術的な問題に対し課題を設定し、自らの仮説を適切に検証することができる。常に、新たな問題解決策を模索し続けていくことができる。	自らの仮説を検証し、新たな問題解決策を模索し続ける力を修得するために、研究思考に関する特論科目、看護学に関する研究手法を学ぶ演習科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準④、学術論文発表・学会発表により評価する。	看護学に関する問題を多面的に認識し、解決するために必要な基礎的知識と探求する意欲を有する。
S	Self-realization 自己実現意欲	看護学領域における教育研究者及び高度実践者として、生涯を通じて主体的・意欲的に研鑽し続けることができる。	看護学に関する教育・研究・実践の意義を理解し、自身を持続的に成長させる力を修得するために、看護学に関する研究動向や問題を学ぶ演習科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①～⑥により評価する。	看護学に関する教育・研究・実践に高い関心を持ち、主体的・意欲的に学ぶ態度を有する。



# 社会福祉学専攻の3つのポリシー

本学では、建学の精神「優れた QOL サポーターの育成」のもと、優れた QOL サポーターに求められる資質・能力を 5 項目あげ、その英語の頭文字をとって「STEPS」と定義しています。

優れた QOL サポーターの資質・能力【STEPS】		ディプロマ・ポリシー 修了認定方針 以下のような力を身に付けた方に学位を授与します	カリキュラム・ポリシー 教育課程編成方針 以下の方針に従って教育課程を編成し、実施します	アドミッション・ポリシー 入学者受け入れ方針 以下のような能力・意欲等を有する学生を求めます
S	Science & Art 科学的知識と技術 を活用する力	社会福祉に関する専門知識や技術を、利用者の理解や支援に活かすことができる。 社会福祉に関する最新情報を収集・整理できる。	研究の基盤となる知識や技術を修得するため、特論科目と演習科目を体系的に配置する。また、学際的な学修のために他分野の科目も履修可能とする。さらに、専門知識を応用する能力を養うための特別研究科目を設置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①～⑥により評価する。	社会福祉領域における専門知識や技術を修得し、利用者の理解や支援に活かしたいという意志を有する。
T	Teamwork & Leadership チームワークと リーダーシップ	多様な人々と円滑なコミュニケーションを図り、連携を促進することができる。 組織や地域社会、または国際社会の一員としての役割を主体的に果たすことができる。	多職種間連携を促進する能力を獲得するための共通科目を設置する。また、自らの役割と責任を認識し、遂行する能力を涵養するための専門科目を設置する。さらに、特別研究科目を通して地域社会や組織のリーダー養成を推進する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①～⑥により評価する。	他者とのコミュニケーションを積極的に図り、組織や地域社会の一員として活躍したいという意欲を有する。
E	Empowerment 対象者を支援する力	豊かな人間性と倫理観に基づいて、人々の多様性や個性を尊重できる。 人々の多様性や個性を尊重する姿勢を利用者の理解や支援に活かすことができる。	研究倫理教育プログラムを通して、専門業務に必要な倫理観を修得する。また、人々の多様性や個性を尊重して支援を展開する能力を培うための共通科目と専門科目を設置し、修士論文等をまとめる過程でそのような能力の向上を図る。その成果は、研究倫理教育プログラム、履修科目の成績および学位論文評価基準①～⑥により評価する。	研究倫理を守り、他者の多様な価値観や生き方を尊重しながら支援を展開したいという意志を有する。
P	Problem-solving 問題を解決する力	社会福祉に関する課題を発見し、仮説を検証するなど、理論と実践を結び付けながら利用者の問題解決に取り組むことができる。	多様な社会的課題に触れる機会を提供する共通科目を設置するとともに、利用者の問題解決に取り組む能力を養うための専門科目を設置する。さらに、理論と実践を結び付けて活用する能力を修得するために修士論文等の提出を課す。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①～⑥により評価する。	社会福祉に関連する諸課題に関心があり、具体的な研究や実践の課題を設定しようとする意欲を有する。
S	Self-realization 自己実現意欲	変動する社会に対応するため、自ら学び続ける意欲を持つことができる。 社会福祉に関する専門性を発揮し、社会に貢献する意欲を持つことができる。	幅広い視野と自律的な研究姿勢を身に付けるため、自分分野の科目に加えて他分野の科目も履修して修士論文等に繋がられる体制を敷く。また、複数の教員による研究指導体制を整備し、多角的な視点から研究する能力を涵養する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①～⑥により評価する。	社会福祉に関連する諸課題を解決するための研究力や実践力の修得を目指し、社会に貢献する意欲を有する。

# 医療情報・経営管理学専攻の3つのポリシー

本学では、建学の精神「優れた QOL サポーターの育成」のもと、優れた QOL サポーターに求められる資質・能力を 5 項目あげ、その英語の頭文字をとって「STEPS」と定義しています。

優れた QOL サポーターの資質・能力【STEPS】		ディプロマ・ポリシー 修了認定方針 以下のような力を身に付けた方に学位を授与します	カリキュラム・ポリシー 教育課程編成方針 以下の方針に従って教育課程を編成し、実施します	アドミッション・ポリシー 入学者受け入れ方針 以下のような能力・意欲等を有する学生を求めます
S	Science & Art 科学的知識と技術 を活用する力	医療情報・経営管理に関する最先端の情報をもとに、適切なデータサイエンスの手法を用いて、検証することができる。	医療情報・経営管理に関する仮説を立て、検証する能力を修得するために、研究思考やデータサイエンスに関する特論科目とともに、実際に研究を遂行する科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①②③、学術論文発表・学会発表により評価する。	医療情報・経営管理に関する基礎的知識および国内外の情報を収集する力を有する。
T	Teamwork & Leadership チームワークと リーダーシップ	ダイバーシティ(多様性の尊重)の考えを基盤に、地域または国際社会において、異なる領域の専門家間の連携を促進することができる。	ダイバーシティの考えを基盤に、異なる領域の専門家間の連携を促進するために、英語でのコミュニケーションや連携および医療情報・経営管理に関する基礎科目を配置する。その成果は、履修科目の成績により評価する。	異なる領域の考え方を理解し、専門家間の連携を促進しようとする強い意志を有する。
E	Empowerment 対象者を支援する力	豊かな人間性および高潔な倫理観を有している。対象者を含む関係者の価値観・決断を尊重し、様々な考えを融合することで、適切な支援を提案できる。	人間性および倫理観をもとに、対象者に対して適切な支援を提案する力を修得するために、研究倫理教育プログラム、医療情報・経営管理に関する科目を配置する。その成果は、研究倫理教育プログラム、履修科目の成績および学位論文評価基準⑤により評価する。	医療情報学・経営管理学領域における対象者の支援に対して強い意志を有する。
P	Problem-solving 問題を解決する力	社会的・学術的な問題に対し課題を設定し、適切なデータサイエンスの手法を用いて検証し、新たな問題解決策を模索し続けることができる。	自らの仮説を検証し、新たな問題解決策を模索し続ける力を修得するために、研究思考に関する特論科目、医療情報・経営管理に関する研究手法を学ぶ演習科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準④、学術論文発表・学会発表により評価する。	医療情報・経営管理に関する問題を多面的に認識し、解決するために必要な基礎的知識または経験を有する。
S	Self-realization 自己実現意欲	医療情報・経営管理の専門家として、学際的な学術・実践活動の価値を理解し、生涯を通して持続的に自信を成長させることができる。新たな価値を創出しようとする事ができる	医療情報・経営管理に関する学術・実践活動の価値を理解し、自身を持続的に成長させる力を修得するために、医療情報・経営管理に関する研究動向や問題を学ぶ演習科目を配置する。その成果は、履修科目の成績および学位論文評価基準①～⑥により評価する。	医療情報・経営管理に関する学術・実践活動に高い関心を持ち、主体的・意欲的に学ぶ態度を有する。

# 学位論文の評価基準

## 保健学専攻（保健学学位プログラム）

### <学位論文の評価基準>

保健学専攻（保健学学位プログラム）では、提出された論文の研究内容が本専攻の学位論文としてふさわしい学術的な意義、新規性、独創性、妥当性、創造性、倫理性等を有しているかを審査し、下記の審査基準を満たした場合に、合格とする。

### <審査項目>

- 1 研究課題の学術的意義と位置づけ：関連分野の国内外の研究動向および先行研究に基づいて、保健学領域における当該研究の意義や位置づけが示されていること。
- 2 研究課題の新規性と独創性：保健学領域の発展に寄与する新たな研究成果が、修士論文に相応しい量含まれていること。
- 3 研究の妥当性：適切な研究手法が用いられており、研究結果の信頼性があること。研究結果に対する考察・結論が客観的な根拠に基づいており、妥当であること。
- 4 研究課題の創造性と波及効果：得られた研究成果が、当該分野を含む保健学領域の発展や臨床現場への適用性、有用性があること。
- 5 研究倫理：研究倫理が遵守されていること。
- 6 論理性と形式・体裁：研究全体の論理に一貫性があり、修士論文等に相応しい形式にまとめてあること。

## 健康科学専攻（健康科学学位プログラム）

### <学位論文の評価基準>

健康科学専攻（健康科学学位プログラム）では、提出された論文の研究内容が本専攻の学位論文としてふさわしい学術的な意義、新規性、独創性、妥当性、創造性、倫理性等を有しているかを審査し、下記の審査基準を満たした場合に、合格とする。

### <審査項目>

- 1 研究課題の学術的意義と位置づけ：関連分野の国内外の研究動向および先行研究に基づいて、健康科学領域における当該研究の意義や位置づけが示されていること。
- 2 研究課題の新規性と独創性：健康科学領域の発展に寄与する新たな研究成果が、修士論文に相応しい量含まれていること。
- 3 研究の妥当性：適切な研究手法が用いられており、研究結果の信頼性があること。研究結果に対する考察・結論が客観的な根拠に基づいており、妥当であること。
- 4 研究課題の創造性と波及効果：得られた研究成果が、当該分野を含む健康科学領域の発展や臨床現場への適用性、有用性があること。
- 5 研究倫理：研究倫理が遵守されていること。
- 6 論理性と形式・体裁：研究全体の論理に一貫性があり、修士論文等に相応しい形式にまとめてあること。

## 健康科学専攻（看護学学位プログラム）

### <学位論文の評価基準>

健康科学専攻（看護学学位プログラム）では、提出された論文の研究内容が本専攻の学位論文としてふさわしい学術的な意義、新規性、独創性、妥当性、創造性、倫理性等を有しているかを審査し、下記の審査基準を満たした場合に、合格とする。

#### <審査項目>

- 1 研究課題の学術的意義と位置づけ：関連分野の国内外の研究動向および先行研究に基づいて、看護学領域における当該研究の意義や位置づけが示されていること。
- 2 研究課題の新規性と独創性：看護学領域の発展に寄与する新たな研究成果が示されていること。
- 3 研究の妥当性：適切な研究手法が用いられており、研究結果の信頼性があること。研究結果に対する考察・結論が客観的な根拠に基づいており、妥当であること。
- 4 研究課題の創造性と波及効果：得られた研究成果が、当該分野を含む看護学領域の発展や臨床現場への有用性、波及性があること。
- 5 研究倫理：研究倫理が遵守されていること。
- 6 論理性と形式・体裁：研究全体の論理に一貫性があり、修士論文等に相応しい形式にまとめてあること。

## 社会福祉学専攻（社会福祉学学位プログラム）

### <学位論文の評価基準>

社会福祉学専攻（社会福祉学学位プログラム）では、提出された論文の研究内容が本専攻の学位論文としてふさわしい学術的な意義、新規性、独創性、妥当性、創造性、倫理性等を有しているかを審査し、下記の審査基準を満たした場合に、合格とする。

#### <審査項目>

- 1 研究課題の学術的意義と位置づけ：これまでの研究動向および先行研究に基づいて、社会福祉学領域における該当研究の意義や位置づけが示されていること。
- 2 研究課題の新規性と独創性：社会福祉学領域の発展に寄与する新たな研究成果が含まれていること。
- 3 研究の妥当性：適切な研究手法が用いられており、研究結果の信頼性があること。研究結果に対する考察・結論が客観的な根拠に基づいており、妥当であること。
- 4 研究課題の創造性と波及効果：研究成果が、該当分野を含む社会福祉学領域における学術の発展や臨床現場への適用性、有用性があること。
- 5 研究倫理：研究倫理が遵守されていること。
- 6 論理性と形式・体裁：研究全体の論理に一貫性があり、修士論文等に相応しい形式にまとめてあること。

## 医療情報・経営管理学専攻（医療情報・経営管理学学位プログラム）

### <学位論文の評価基準>

医療情報・経営管理学専攻（医療情報・経営管理学学位プログラム）では、提出された論文の研究内容が本専攻の学位論文としてふさわしい学術的な意義、新規性、独創性、妥当性、創造性、倫理性等を有しているかを審査し、下記の審査基準を満たした場合に、合格とする。

### <審査項目>

- 1 研究課題の学術的意義と位置づけ：関連分野の国内外の研究動向および先行研究に基づいて、医療情報学・経営管理学領域における当該研究の意義や位置づけが示されていること。
- 2 研究課題の新規性と独創性：医療情報学・経営管理学領域の発展に寄与する新たな研究成果が、修士論文に相応しい量含まれていること。
- 3 研究の妥当性：適切な研究手法が用いられており、研究結果の信頼性があること。研究結果に対する考察・結論が客観的な根拠に基づいており、妥当であること。
- 4 研究課題の創造性と波及効果：得られた研究成果が、当該分野を含む医療情報学・経営管理学領域の発展や臨床現場への適用性、有用性があること。
- 5 研究倫理：研究倫理が遵守されていること。
- 6 論理性と形式・体裁：研究全体の論理に一貫性があり、修士論文に相応しい形式にまとめてあること。

## 修了要件

本大学院に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士課程の目的に応じ、修士論文等の審査および最終試験に合格することが必要です。所定の単位とは、修士論文コースでは 30 単位です。その他はコースごとに異なります。詳細は「大学院学生便覧」をご覧ください。

ただし、優れた業績を上げた者については、本大学院に1年以上在学すれば足りるものとし、詳細は大学院・国際交流課にお問い合わせください。

## 取得できる学位

専攻名	分野名	学位
保健学専攻	理学療法学分野	修士（保健学）
	作業療法学分野	
	言語聴覚学分野	
	義肢装具自立支援学分野	
	医療安全技術管理学分野	
	視覚科学分野	
	救急救命学分野	
	放射線情報学分野	
	自然人類学分野	
健康科学専攻	健康栄養学分野	修士（健康科学）
	健康スポーツ学分野	修士（看護学）
	看護学分野	
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	修士（社会福祉学）
	保健医療福祉マネジメント学分野	
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	修士（医療情報・経営管理学）

## 取得できる教員免許

専攻名・分野名	免許状の種類	免許科目
健康科学専攻 健康スポーツ学分野	高等学校教諭専修免許状	保健体育
	中学校教諭専修免許状	保健体育

## **新潟医療福祉大学大学院では**

### **様々な修学制度を用意しております**

#### **< 2年間で修了できるか心配な方へ：長期履修生制度 >**

職業があるまたは育児、介護等を行う必要がある等の理由で、標準修業年限（2年間）で修了することが困難である方を対象に長期履修生制度を設けています。周囲の環境や勤務先の事情などがある方が、修業年限を3年または4年に延長ができる制度です。長期履修生は、標準修業年限にとらわれることなく、在学年数を自分のライフスタイルに合わせて計画的に自分のペースで学ぶことができます。

授業料、施設設備費等の学費については、在学年数に応じ分割して納めることとなりますので、年間の負担は軽減されます。（修了までの支払総額は標準修業年限で修了する場合より若干増えることとなります。）

詳細は大学院入試事務室（grnyuusi@nuhw.ac.jp）へお問い合わせください。

#### **< 特定の科目のみ履修したい方へ：科目等履修生制度 >**

本大学院の学生以外の方で、入学しなくても、本大学院の授業科目だけを履修することのできる制度もあります。

詳細は大学院入試事務室（grnyuusi@nuhw.ac.jp）へお問い合わせください。

# 学位取得に向けて

## 授業について

### 授業時間

時限	授業時間帯	時間
第1時限	9:00~10:30	90分
第2時限	10:40~12:10	90分
昼休み	12:10~13:10	60分
第3時限	13:10~14:40	90分
第4時限	14:50~16:20	90分
第5時限	16:30~18:00	90分
第6時限	18:10~19:40	90分
第7時限	19:50~21:20	90分

本学大学院では、主に平日夜間（第6時限、第7時限）と土日昼間および集中講義で授業をおこなっています。昼間の時間は仕事等をはじめ、授業以外の活動にあてたい方など、学生個々のライフスタイルに合わせた履修が可能となっています。

### メディアを利用した授業

本学では、対面による授業とメディアを利用した授業（メディア授業、遠隔授業、オンライン授業などとも言います）を組み合わせたハイブリッド型授業を取り入れています。

メディア授業の主な形式は以下のようになります。

#### ・同時双方向型

Web会議システム等を用いて、リアルタイムで配信する授業形式です。オンライン上で教員と学生が双方向で繋がり、その場での質疑応答や履修者同士で意見交換をすることができます。

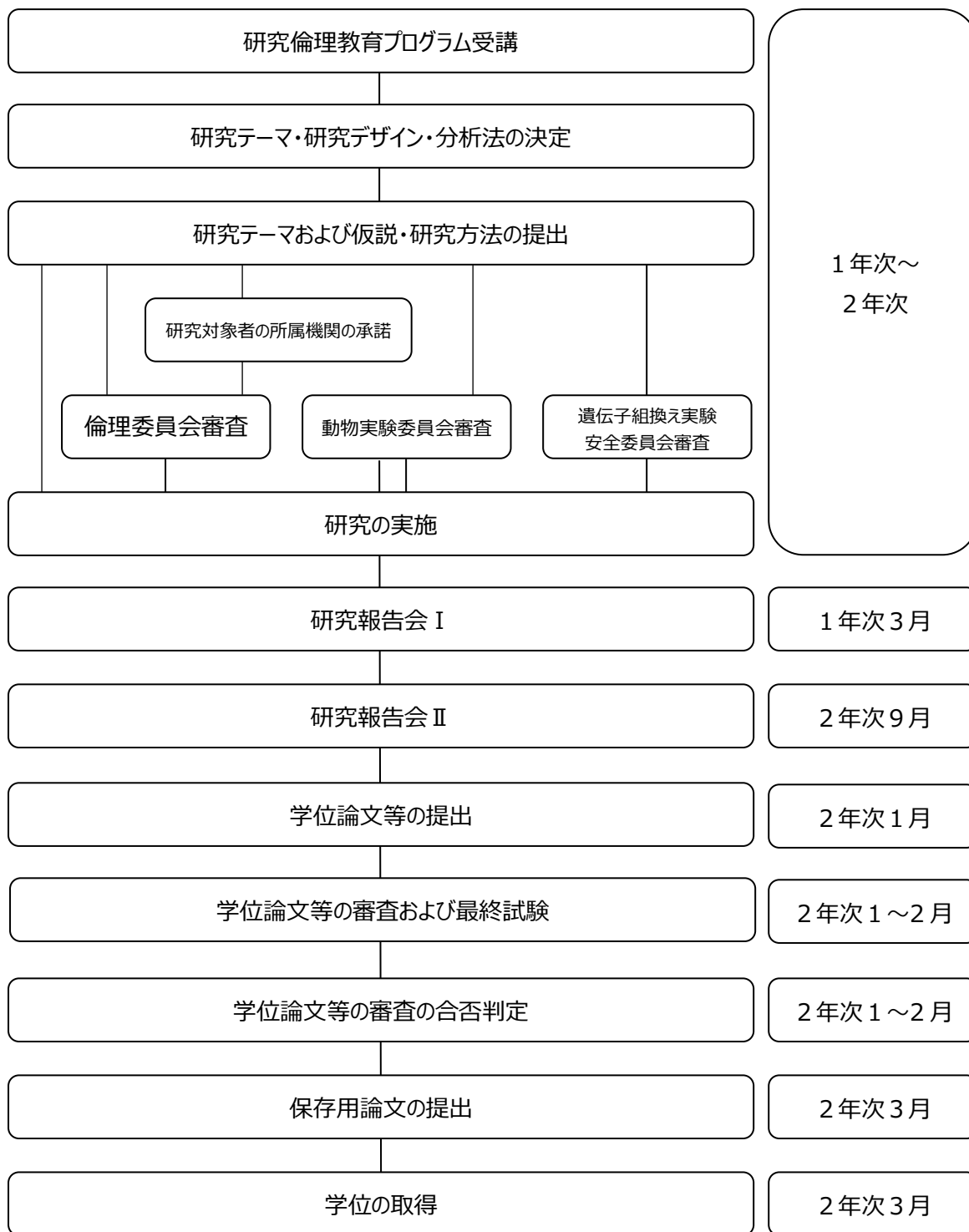
#### ・オンデマンド型

オンライン上で事前に収録された講義動画や資料によって学ぶ授業形式です。本学教務システム等を活用した課題提出、質疑応答ができ、履修者同士の意見交換も可能です。

研究活動などは対面式授業とメディア授業を組み合わせて実施をしています。



# 学位取得までのプロセス ※4月入学・標準年限（2年）で修了する場合



# 学位論文の審査について

## 審査体制

学位論文等の審査を実施するために設置する審査委員会は、主査1名と2名以上の副査で構成されます。

- 1 主査は、当該専攻（分野）における研究指導教員とする。
- 2 副査は、大学院担当教員とし、1名以上は研究指導教員と異なる分野から選定する。
- 3 2名の副査を指導教員と同一の分野から選定する場合は研究科委員会の議を経るものとする。

ただし、特定の課題についての研究成果（課題研究成果）の審査を実施するために設置する審査委員会は、主査1名と1名以上の副査で構成されます。

- 1 主査は、当該専攻（分野）における研究指導教員とする。
- 2 副査は、大学院担当教員とするが、高度専門職業人プログラムの場合に限り専攻分野の教員とする。

## 審査方法

学位論文等の審査は、以下の方法にて実施され、評価は合格および不合格で行われます。

- 1 修士課程の学位論文等の審査は、提出された修士論文ならびにその口頭試問の内容を審査する。その際の基準は、「学位論文の評価基準」を参照する。
- 2 学位論文等が書き下ろし論文の場合、提出者は、審査会の指摘や助言を反映させた学位論文等を最終版として大学院・国際交流課へ提出する。

## 審査までのプロセス

- 1 「研究倫理eラーニングコース（e-Learning Course on Research Ethics、eL CoRE）」を受講する。
- 2 研究報告会Ⅰにて、学位取得に向けたプロセス・活動、学位論文の進捗および今後の活動計画を報告し、到達度に関する自己評価等を実施する。
- 3 研究報告会Ⅱにて、学位論文の進捗および提出に向けた計画を報告し、到達度に関する自己評価等を実施する。

# 学位論文審査申請時の提出書類

- 1 （様式1）論文審査願
- 2 （様式2）論文目録
- 3 （様式3）履歴書
- 4 論文：修士論文1編、課題研究論文1編

書き下ろしたのものは、または学術雑誌に投稿したもののどちらでも可とします。

- ・書き下ろし論文の場合には、指定の論文表紙をつける
- ・投稿論文の場合には、審査規程が明記された英文または和文の学術雑誌に掲載または掲載可（accepted）の証明書がある筆頭原著論文（別刷りあるいはその複写物）であること。英文学術雑誌とは、国際的に高い評価を得ている専門雑誌（Niigata Society of Health and Welfare 発行英文雑誌を含む）とする。和文学術雑誌の場合は、学位申請者の業績等を勘案し、総合的にその是非を判断する。なお、学位論文に代える原著論文は、大学院修士課程入学以降に投稿された論文であること。その際は、学位論文採用証明書（様式4）も提出すること。

5 (様式5) 論文要旨：修士論文1部、課題研究論文1部

- ① 英文、和文いずれの論文も、要旨は和文で記載する。
- ② 要旨は指定の書式で1600字以内とする。
- ③ 要旨の下段には、5個以内のキーワードを添える。

6 (様式6) 論文提出許可書

- ・参考論文がある場合は、参考論文採用証明書(様式7)を提出し、参考論文採用証明資料もつけること

## 生成 AI 利用に関する注意事項

### 学位論文等作成

- 1 生成 AI から得た情報は、そのまま使用せずに正確性や正当性を確かめる。
- 2 個人情報等を生成 AI に入力しない。
- 3 生成 AI による文章や画像等のデータをそのまま使用することは著作権侵害や剽窃等につながる可能性があり、研究不正となる危険性があることを認識する。
- 4 論文内で使用する引用について正確な出典を記載する等、「新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 論文作成マニュアル」を遵守する。

### 学位論文等審査

- 1 主審査委員・副審査委員を担当する大学院担当教員は、上記1で示した注意事項を認識し、学位論文等の審査および最終試験を実施する。
- 2 特に、書下ろし学位論文(修士課程)で提示されている内容は、正確性や正当性を確かめる。

# 相談窓口

本学大学院では皆さんの悩みや困りごとに寄り添えるよう、相談窓口としてNUHWセーフティーネットを設けております。お困りのことがありましたら、下記相談窓口をご利用ください。大学院生活全体の“つまずき”や“引っかかり”を解決し、安心・安全な大学院生活を“ナッジ（そっと後押し）”します。

## セーフティーネット相談窓口

図書館棟 図書館・学習支援センター  
講義棟 医務室（健康管理センター）、学生課、就職センター  
メール soudan@nuhw.ac.jp

## その他問い合わせ窓口

